

## 【歴史と沿革】

「第一賓館」は日本統治時代には「貴賓館」と呼ばれ、看板には「軍人休憩所房舎」と書かれてありました。第二次大戦後に国民党政府に接收され、「第一賓館」と改称されました。

日本統治時代の1940（昭和15）年、澎湖庁が「貴賓館」（第一賓館）を建設しました。澎湖庁の建築技師末安猛による設計で、澎湖庁の職員黄得永が工事監督を務め、宏志土木請負組合の許令咸が建設を担当しました。時はおりしも日中戦争のさなかで、建築材料の購入や輸送は困難を極めました。1942（昭和17）年10月26日、大田政作長官が上棟式を執り行い、1943（昭和18）年2月に落成を迎えました。

1945（昭和20）年8月15日、日本の無条件降伏により、台湾と澎湖の日本統治は幕を閉じました。1949（民国38）年5月17日、すでに辞任していた蒋介石総統が初めて澎湖に降り立ち、貴賓館に宿泊して5月26日に馬公から高雄へ向かいました。それ以来貴賓館は長く「蔣公行館」とされ、「第一賓館」と改称されました。

1956（民国45）年、第一賓館を総統専用の行館とするため、第一賓館内部の和風空間が一部取り壊され、西洋風の居住空間に改築されました。さらに書斎、食堂、蔣経国氏の専用個室を増築し、第一賓館の南側に戦時に備えた地下指揮室を設けました。

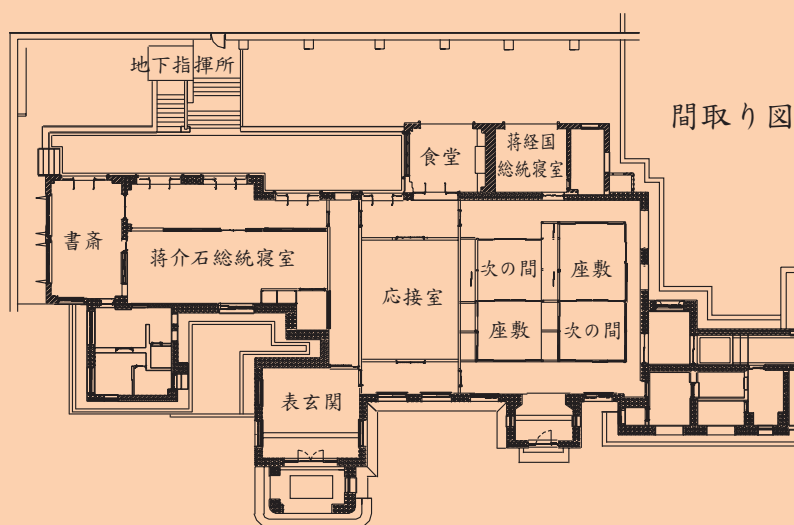
1958（民国47）年の金門823砲撃戦の際には、蒋介石総統が第一賓館に戦時指揮室を設立し、「閃電」、「鴻運」、「轟雷」計画を実行しました。金門砲撃戦が終わると、蒋介石総統は澎湖を巡視に訪れるたびに第一賓館を宿としました。その後を継いだ蔣経国総統も第一賓館に何度も宿泊しました。

## 【建築の特色】

第一賓館は和洋折衷の建築様式となっています。内部の空間は「洋風空間」と「和風邸宅」の二つの部分に分かれています。洋風空間には「表玄関（正面玄関、広間）」、「応接室（洋風の客間）」、寝室があります。和風邸宅は「内玄関（側面玄関）」、二組の「座敷（和風の居間）」と次の間（座敷の隣の部屋）」からなっています。入口の玄関は当時流行していた「入母屋造（歇山式、唐博風式）」の屋根と洋風門扉の構造になっており、家屋の外壁は主に烏石で造られた耐力壁構造になっています。内壁の間仕切り壁は当時最先端だった洋風の「木摺漆喰壁（板に漆喰を塗って仕上げた壁）」と伝統的な和風の「竹木舞造壁（竹を組んで漆喰を塗った壁）」による工法が用いられています。座敷と次の間を仕切る引き戸の上の欄間にはヒノキの板に富士山の景色を透かし彫りした特殊な工法が用いられています。入口玄

関の地面と壁面には澎湖特産の「洗砂頭」、「洗石子」、「レンガ造漆喰壁」の工法と材料が使用されています。屋根は切妻屋根となっており、セメント製の理想瓦（上瓏瓦）が張られています。1956（民国45）年に澎湖が修築した際、内部の間仕切壁を一部改築しました。また板張りだった廊下にじゅうたんを敷き、寝室の畳を外してフローリングに改造しました。

第一賓館はその建築の特色と歴史的な意義により、1998年12月10日に県指定の史跡となりました。2000年には頼峰偉県知事が軍の協力を得て第一賓館を県の管理に置きました。県では2002年に調査研究および修復計画をまとめ、2006年に改修工事に着手しました。そして2008年7月30日、王乾発県知事が上棟式を主催して新たな看板が掲げられました。2009年に改修工事が完了し、2011年5月18日に開館を迎えました。



間取り図

### ● 蔣中正前総統の寝室

ここは蒋介石前総統とその夫人宋美齡女史の寝室です。室内は木造の内装がなされており、シングルベッドが2つ、デスク、椅子、机、ソファ、茶机、ベッドフレーム、収納型ヘッドボード等を含む家具の多くは当時から残されているものです。また家具には「壽」の文字模様がはっきりと刻まれています。

### ● 蒋介石前総統の書斎

ここは蒋介石前総統の書斎です。ここでは事務や文書処理も行われていました。木造の内装がなされ、室内は清掃と整理整頓が行き届いています。窓の外には草花や木々が生い茂り、静かな雰囲気になっています。

### ● 蒋介石前総統の洗面所

ここは蒋介石前総統の洗面所です。洗面台、トイレ、浴室がそれぞれ分かれています。床と壁面の材質にはいずれも当時の特色である小口のタイルやモザイクが敷き詰められています。

### ● 蔣経国前総統の寝室

ここは蔣経国前総統の寝室です。1958（民国47）年の第2次台湾海峡危機（八二三砲戦）中に建設されました。小さめで簡素な内装は蔣経国前総統の質朴な性格を表しています。

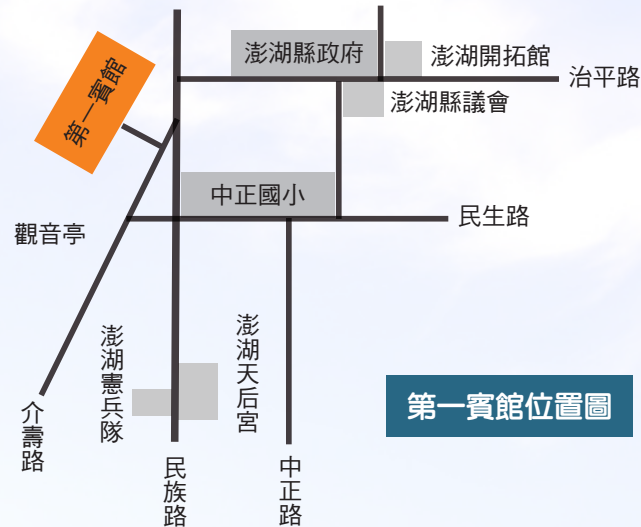
### ● 食堂

ここは食事をしたり、パーティーを催す場所です。1958（民国47）年の第2次台湾海峡危機（八二三砲戦）中に建設されました。テーブルには蔣経国前総統が訪問した民間の友人、呂九屏氏の清心小吃店の前総統が愛した、ヒラケンサキイカのサラダ、ウニのオムレツ、蒸しアサヒガニ、ノコギリガザミの粥、海鮮焼きそば、ハタのスープなど、澎湖料理の模型が並べられています。

| Chinese | Japanese | Chinese | Japanese |
|---------|----------|---------|----------|
| 空間紹介    | 間取り図     | 經国總統寢室  | 蔣経国總統寢室  |
| 地下指揮所   | 地下指揮所    | 接應室     | 応接室      |
| 書房      | 書斎       | 表玄関     | 表玄関      |
| 蔣中正總統寢室 | 蒋介石總統寢室  | 次間      | 次の間      |
| 餐廳      | 食堂       | 座敷      | 座敷       |



澎湖縣馬公市介壽路15號 TEL:06-9269413  
網址：<http://fg.phhcc.gov.tw>



| Chinese | Japanese | Chinese | Japanese |
|---------|----------|---------|----------|
| 位置圖     | アクセス     | 澎湖縣政府   | 澎湖県政府    |
| 觀音亭     | 觀音亭      | 澎湖縣議會   | 澎湖県議会    |
| 介壽路     | 介寿路      | 澎湖開拓館   | 澎湖開拓館    |
| 民族路     | 民族路      | 澎湖憲兵隊   | 澎湖憲兵隊    |
| 中正路     | 中正路      | 澎湖天后宮   | 澎湖天后宮    |
| 民生路     | 民生路      | 中正國小    | 中正小学校    |
| 治平路     | 治平路      |         |          |



# WELCOME.

毎週月・火は休館、水・木は予約開館となります。毎週金～日9：00～12：00、14：00～17：00。

ガイド付き団体予約は、7日前より受け付けをいたします。お問い合わせ06-926-9413、06-926-1141内線136。ファックス06-927-5722。

大人：30元  
小人：15元  
团体：20元

無料：県内学校の学習活動、120cm以下の子供、身体障害者、65歳以上のお年寄り、ボランティアサービス栄誉カード保持者、当県の栄誉県民。

- 1.当館の展示環境を品質、清潔、快適、安全に保つため、騒いだり走ったりしないでください。また喫煙、檳榔、ガム、飲食物、危険物の持ち込みはご遠慮ください。
- 2.当館では商業利用を目的とした撮影・録画は禁止しております。



1. 史跡の維持・保存と人体の安全を保ち、最善の環境でご観覧いただくため、第一資館では長期にわたって総量規制を実施し、同一時間帯での観覧人数上限を40人とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、どうぞご了承ください。
2. 第一資館は県指定史跡です。「文化資産保存法」第九十四条第一項の二により、史跡の全部、一部或いはその付属施設を毀損した者は、五年以下の懲役または二十万元以上百万元以下の罰金のいずれか或いは両方が科せられます。

